

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社 上場取引所 東 福
コード番号 9656 URL <https://www.greenland.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松野隆徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐伯賢二 TEL 0968-66-2111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,817	△0.9	659	△20.2	669	△19.4	468	△20.8
2023年12月期第3四半期	4,858	16.6	826	36.2	830	25.5	590	23.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 459百万円 (△31.4%) 2023年12月期第3四半期 669百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	45.28	—
2023年12月期第3四半期	57.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	19,034	10,120	53.2
2023年12月期	18,840	9,805	52.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 10,120百万円 2023年12月期 9,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	5.00	—	9.00	14.00
2024年12月期	—	5.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	8.00	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	4.6	630	△29.1	620	△30.4	430	△7.3	41.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	10,346,683株	2023年12月期	10,346,683株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	9,260株	2023年12月期	9,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	10,337,423株	2023年12月期3Q	10,337,423株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、企業収益の回復による雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加等を背景に景気は緩やかに回復しているものの、海外におけるウクライナ情勢の長期化や中東情勢の激化、不安定な為替の変動や物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「各事業の収益力強化」、「経営効率化の推進」、「人的資本経営の推進」、「SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化」の4つを基本方針とした中期経営計画2026（2024年12月期から2026年12月期）を推進し、施設ならびにサービスの拡充と合わせて各種料金改定を行ったほか、効率的な経費支出に取り組んでまいりました。また、各施設においては積極的な集客施策に取り組んでまいりましたが、特に九州の遊園地の利用者数が、新型コロナウイルス感染症の5類指定に伴う行動制限の緩和や全国旅行支援事業の影響で好調であった前年同期と比べて大きく減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,817,398千円（前年同期比0.9%減）となり、営業利益は659,118千円（前年同期比20.2%減）、経常利益は669,507千円（前年同期比19.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は468,062千円（前年同期比20.8%減）となりました。

項 目	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	4,817,398	4,858,716	△41,318	△0.9
営業利益	659,118	826,154	△167,036	△20.2
経常利益	669,507	830,860	△161,353	△19.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	468,062	590,681	△122,618	△20.8

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

・遊園地セグメント

九州の遊園地は、様々な特別感や話題性のあるイベントを開催し、3月には新規アトラクション「サブマリンスキューティング」の導入や駐車料金の改定を行い収益基盤の強化を図り、夏季のウォーターパーク（プール）においては猛暑の影響もあり利用者数が大きく増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や全国旅行支援事業の影響で好調だった前年同期と比べて利用者数は減少しました。

北海道のスキー場は、天候に恵まれずゲレンデコンディションの悪化等もあり利用者数が減少したものの、北海道の遊園地は、多彩なキャラクターショーやタレントを招聘したイベント、花火大会など多種多様なイベントを開催して、ファミリー層を中心に集客を図り、利用者数は増加しました。また、いわみざわ公園管理においては4月より新たに「利根別自然公園」などの指定管理者として指名を受け、収益基盤の安定化を図りました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比61,802千円減収（△2.7%）の2,246,467千円となりました。

・ゴルフセグメント

グリーンランドリゾートゴルフコースでは、各種競技大会や多様なオープンコンペを開催し、自動精算機の拡充やレストランのセルフオーダーシステム、自家消費型太陽光発電システムを導入し、プレーヤーの利便性向上や光熱費の削減を図りました。

開場50周年を迎えた大牟田ゴルフ場、及び広川ゴルフ場では、ゴルフ競技・大会の開催による集客及び大型ゴルフコンペの獲得に注力するとともに、キャディ付プレーの促進、柔軟なプレー料金の設定による客単価向上に取り組んだほか、コース内の茶店を直営化し運営の効率化を図りました。

そのほか、新たな送客エージェントと業務提携しPRを強化することで、韓国からのゴルフプレーヤーの獲得を図りましたが、天候不順や夏場の猛暑の影響もあり、利用者数は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比24,233千円減収（△3.2%）の728,524千円となりました。

・ホテルセグメント

九州のホテルは、宿泊部門ではオフィシャルホテルとしての強みを活かした多様な特典付プランやOTAを活用し、集客と収益向上を図りました。料飲・宴会部門では多彩なバイキングやバーベキュー、特別感のあるイベントを開催し、慶事・法事の取り込みにも注力したほか、幅広い宴会プランや「ヴェルデ婚」のPRを強化し売上拡大を図りました。また、来館者が快適に滞在しサービスが利用できるよう、館内の環境改善に取り組みました。

北海道のホテルは、宿泊部門ではビジネス客や各種団体客の利用促進のほか、特別な宿泊セットプランを造成し、遊園地利用客やスキー場、ゴルフ場利用のインバウンドの取り込みに注力し、集客拡大を図りました。料飲部門ではランチバンキングやレディースランチによるリピーター拡大や、宴会部門では企業等の周年事業の獲得や魅力あるイベントを展開し集客を図りました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比24,042千円増収(+1.7%)の1,456,570千円となりました。

・不動産セグメント

不動産セグメントは、前年12月に「KKT住宅展示場」の賃貸料改定を実施したことにより土地賃貸収入が増加し、売上高は前年同期比996千円増収(+0.8%)の122,560千円となりました。

・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、一般土木工事受注が好調に推移し、バイオマス火力発電所への燃料投入業務が増加したため、売上高は前年同期比19,677千円増収(+8.1%)の263,274千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、19,034,805千円(前連結会計年度末比194,027千円増加)となりました。

流動資産は、840,498千円(前連結会計年度末比23,637千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産は、18,194,307千円(前連結会計年度末比170,389千円増加)となりました。これは主に、建物及び構築物、その他(工具、器具及び備品)が増加したことによるものであります。

流動負債は、4,473,534千円(前連結会計年度末比137,158千円増加)となりました。これは主に、未払金、未払法人税等が減少したものの、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、4,440,459千円(前連結会計年度末比258,112千円減少)となりました。これは主に、長期借入金、長期預り金が減少したことによるものであります。

純資産は、10,120,811千円(前連結会計年度末比314,980千円増加)となりました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び期末配当予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想及び配当予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	365,561	394,208
受取手形及び売掛金	266,511	291,655
商品	38,273	35,691
原材料及び貯蔵品	56,446	53,343
その他	92,397	67,915
貸倒引当金	△2,330	△2,317
流動資産合計	816,860	840,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,968,176	2,071,706
機械装置及び運搬具(純額)	450,625	459,570
土地	14,466,886	14,465,663
その他(純額)	135,141	205,856
有形固定資産合計	17,020,829	17,202,797
無形固定資産		
その他	206,114	203,056
無形固定資産合計	206,114	203,056
投資その他の資産		
投資有価証券	368,103	354,615
繰延税金資産	159,964	169,616
退職給付に係る資産	201,486	203,988
その他	67,418	60,924
貸倒引当金	—	△691
投資その他の資産合計	796,972	788,453
固定資産合計	18,023,917	18,194,307
資産合計	18,840,778	19,034,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,208	70,464
営業未払金	146,222	153,355
短期借入金	3,287,128	3,628,644
未払金	456,574	292,196
未払法人税等	168,154	99,083
賞与引当金	—	55,373
その他	189,087	174,416
流動負債合計	4,336,375	4,473,534
固定負債		
長期借入金	2,256,373	2,073,731
長期預り金	2,282,122	2,214,722
退職給付に係る負債	10,476	6,424
その他	149,599	145,581
固定負債合計	4,698,571	4,440,459
負債合計	9,034,947	8,913,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	756,529	1,079,867
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	9,701,428	10,024,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,402	96,044
その他の包括利益累計額合計	104,402	96,044
純資産合計	9,805,830	10,120,811
負債純資産合計	18,840,778	19,034,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,858,716	4,817,398
売上原価	3,568,964	3,665,638
売上総利益	1,289,752	1,151,760
販売費及び一般管理費	463,598	492,641
営業利益	826,154	659,118
営業外収益		
受取利息	7	21
受取配当金	7,527	10,178
受取賃貸料	4,965	4,051
受取保険金	96	6,352
助成金収入	14,798	12,997
雑収入	8,544	6,747
営業外収益合計	35,941	40,348
営業外費用		
支払利息	27,039	29,842
雑損失	4,195	116
営業外費用合計	31,234	29,959
経常利益	830,860	669,507
特別利益		
固定資産売却益	2,965	—
固定資産交換差益	2,227	—
投資有価証券売却益	2,000	—
工事負担金等受入額	30,000	—
特別利益合計	37,193	—
特別損失		
固定資産除売却損	26,731	1,374
減損損失	—	3,499
固定資産圧縮損	2,227	—
投資有価証券評価損	—	1,469
特別損失合計	28,958	6,342
税金等調整前四半期純利益	839,095	663,164
法人税、住民税及び事業税	223,752	202,143
法人税等調整額	24,661	△7,040
法人税等合計	248,413	195,102
四半期純利益	590,681	468,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	590,681	468,062

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	590,681	468,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,174	△8,357
その他の包括利益合計	79,174	△8,357
四半期包括利益	669,855	459,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669,855	459,704
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,308,269	752,757	1,432,527	121,564	243,596	4,858,716	—	4,858,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,346	8,376	15,328	8,406	4,128	49,586	△49,586	—
計	2,321,616	761,134	1,447,856	129,970	247,724	4,908,303	△49,586	4,858,716
セグメント利益又は損失(△)	778,861	46,789	154,949	78,580	43,388	1,102,570	△276,415	826,154

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△276,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,246,467	728,524	1,456,570	122,560	263,274	4,817,398	—	4,817,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,206	8,640	18,395	8,406	49,821	99,469	△99,469	—
計	2,260,673	737,164	1,474,966	130,966	313,095	4,916,867	△99,469	4,817,398
セグメント利益又は損失(△)	666,054	29,465	116,252	81,275	59,142	952,189	△293,071	659,118

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288,535千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	242,501千円	250,137千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。